

特許の出願状況

(様式5)

No.	育成試験 年 度	大 学	発 明 者	出 願 人	発明の名称	出願番号	公開番号	出願 形態
1	平成 12年度	静岡大学	小林健吉郎	浜松科学技術研 究振興会	単結晶薄膜を有する基板およ びその製造方法	特願 2004-051339	未公開	b
2	平成 12年度	静岡大学	小林健吉郎	浜松科学技術研 究振興会	発光素子およびその製造方法	特願 2004-142842	未公開	b
3	平成 12年度	浜松医科大学	稲川正一	科学技術振興事 業団	個別対応型医用三次元模型と その作成方法、及びその作成 装置	特願 2002-039039	特開 2003-241647	b
4	平成 12年度	東海大学	斎藤 寛、大友友彦、 小玉大介	科学技術振興事 業団	乾海苔の非破壊検査方法およ びその装置	特願 2000-386468	特開 2002-186464	a
5	平成 12年度	東海大学	川崎雅弘、上村税男、 佐々木雅美、高野 勉、 小出廣勝、山下 勇、 赤羽光雄、鳥居数馬、 松浦博幸	科学技術振興事 業団、東海大学、 馬淵建設、三光、 シンコーフレッ クス	廃棄物を原料とした軽量混合 焼結生成物の製造方法	特願 2001-370845	特開 2003-171153	e
6	平成 12年度	静岡県立大学	鈴木康夫、松岡浩司、 照沼太陽	科学技術振興事 業団	抗ウイルス活性を有するカル ボキシランデンドリマー化合 物	特願 2001-075081	再公表 02/2588	b
7	平成 12年度	静岡県立大学	鈴木康夫、左 一八	科学技術振興機 構		特願 2002-057909	未公開	d
8	平成 12年度	静岡県立大学	鈴木康夫、左 一八	科学技術振興機 構		特願 2002-307232	未公開	d
9	平成 12年度	静岡県立大学	鈴木康夫、左 一八	科学技術振興機 構	変性エンドグリコシダーゼと 抗 Deng 熱ウイルス剤	特願 2002-323629	特開 2004-154069	d
10	平成 12年度	静岡県立大学	小林一清、鈴木康夫、 小島慎司、長谷川輝明、 米村享宏、鈴木 隆	科学技術振興機 構	ウイルス捕捉材およびウイル スセンサー	特願 2003-062077	特開 2003-325170	d
11	平成 12年度	静岡県立大学	鈴木康夫、左 一八	科学技術振興機 構		PCT/JP03/2 338	未公開	d
12	平成 12年度	静岡県立大学	小林一清、鈴木康夫、 佐々木健二、西田芳弘、 鈴木 隆、鶴沢浩隆	科学技術振興機 構	硫酸化グルコース化合物	特願 2003-186514	特開 2005-015451	d
13	平成 12年度	静岡県立大学	鈴木康夫、左 一八	科学技術振興機 構		PCT/JP03/1 3486	未公開	d
14	平成 12年度	静岡県立大学	照沼太陽、幡野 健、 松岡浩司、鈴木康夫、 左 一八	科学技術振興機 構	新規糖鎖担保持カルボキシランデンドリ マー及びその製造方法、並びに Deng 熱ウイルス感染阻害剤、抗ウイルス剤 及び抗 HIV 剤のスクリーニング用標的 物質	特願 2004-124757	未公開	d
15	平成 12年度	静岡県立大学	山口正義	科学技術振興事 業団	レギュカルチン過剰発現モデ ル動物	特願 2001-287698	特開 2003-164238	b

No.	育成試験 年 度	大 学	発 明 者	出 願 人	発明の名称	出願番号	公開番号	出願 形態
16	平成 12年度	静岡県立大学	山口正義	科学技術振興事 業団	レギュカルチン過剰発現モデル 動物	特願 2002-177666	特開 2003-164238	b
17	平成 12年度	静岡大学	岡島敬一、須藤雅夫	静岡大学		手続き中		b
18	平成 12年度	静岡大学	岡島敬一、須藤雅夫	静岡大学		手続き中		b
19	平成 13年度	静岡理工科大 学	越水重臣	科学技術振興事 業団	遊星歯車を利用した揺動スピ ンドル	特願 2002-178019	特開 2004-019846	a
20	平成 13年度	静岡理工科大 学	堀出明広、松山春男	科学技術振興事 業団	プラスチック材料溶解による FRPのリサイクル処理方法	特願 2002-161159	特開 2004-002580	a
21	平成 13年度	静岡理工科大 学	桐原正之、佐藤一成、 鳥居雄弥	科学技術振興事 業団	高分子固定化バナジウム触媒 及びその製造方法、並びに酸 化方法	特願 2003-034715	特開 2004-243197	b
22	平成 13年度	静岡理工科大 学	桐原正之、三ツ矢善根	科学技術振興事 業団	カルボン酸類の製造方法、及 びカルボニル化合物の結合切 断方法	特願 2003-319259	未公開	b
23	平成 13年度	静岡理工科大 学	桐原正之、滝澤 忍、 松井嘉津也、森 高久	科学技術振興事 業団	アシル化された芳香族化合物 の製造方法、及び芳香族化合 物のアシル化方法	特願 2003-304478	未公開	b
24	平成 13年度	静岡理工科大 学	桐原正之、大久保久美 子、築地広幸、内山奉 文、秋本達広、越山智 仁	科学技術振興事 業団	酸化反応物の製造方法、有機 化合物の製造方法、酸化方法 および有機化合物の生成方法	特願 2003-365465	未公開	b
25	平成 13年度	静岡県立大学	酒井康雄、吉岡寿	酒井康雄、吉岡 寿	キトサンまたはDACの水溶解 方法とその水溶液、キトサン またはDAC水溶液による膜の形 成方法と固体表面の被覆方法 並びに糸の形成方法	特願 2001-366335	特開 2002-241405	a
26	平成 13年度	静岡県立大学	吉岡寿、酒井康雄	科学技術振興事 業団	キトサンまたはDACの炭酸ガ スの水溶液によるキトサンま たはDAC処理紙の製造方法	特願 2001-366338	特開 2003-166197	a
27	平成 13年度	静岡県立大学	吉岡寿、酒井康雄	科学技術振興機 構	合成高分子へのキトサン被覆 方法とキトサン被覆成型品	特願 2002-297559	特開 2004-131600	b
28	平成 13年度	東海大学	後藤顕也、平井浩、山 岡徳雄、吉澤正明	後藤顕也、平井 浩、山岡徳雄、 吉澤正明	医療用携帯形記録媒体	特願 2000-367955	特開 2002-170285	a
29	平成 13年度	東海大学	後藤顕也	東海大学		特願 2004-301767	未公開	b
30	平成 13年度	静岡県立大学	武田厚司	科学技術振興事 業団	脳腫瘍の画像診断用放射性薬 剤	特願 2001-310824	特開 2003-113122	b
31	平成 13年度	浜松医科大学	梶村春彦、五十嵐久喜	科学技術振興機 構	二重染色法による診断システ ム	特願 2002-324433	特開 2004-157053	b

No.	育成試験年 度	大 学	発 明 者	出 願 人	発明の名称	出願番号	公開番号	出願形態
32	平成14年度	静岡理工科大学	山崎誠志	科学技術振興機構	ペーパースラッジ灰を原料とするゼオライトの製造方法	特願2002-346860	特開2004-224687	a
33	平成14年度	静岡理工科大学	山崎誠志	科学技術振興機構	ペーパースラッジ灰を原料とするゼオライトの製造方法	特願2003-187739	特開2004-224687	a
34	平成14年度	静岡大学	永津雅章	浜松科学技術研究振興会	マイクロ波プラズマ発生装置	特願2002-369983	特開2004-200113	e
35	平成14年度	静岡大学	永津雅章	科学技術振興機構	マイクロ波プラズマ滅菌方法および装置	特願2003-015655	特開2004-223038	e
36	平成14年度	静岡大学	永津雅章	浜松科学技術研究振興会	マイクロ波プラズマ発生方法およびその装置	特願2003-069945	特開2004-281194	e
37	平成14年度	静岡大学	永津雅章	浜松科学技術研究振興会	マイクロ波プラズマ発生装置	PCT/JP03/15088	未公開	e
38	平成14年度	静岡大学	永津雅章	科学技術振興機構	マイクロ波プラズマ滅菌方法および装置	特願2004-081733	未公開	e
39	平成15年度	静岡県立大学	酒井康雄、吉岡 寿、伊藤智博	科学技術振興機構	キトサン誘導体とキトサン高分子界面活性剤	特願2004-056846	未公開	b
40	平成15年度	静岡県立大学	酒井康雄、吉岡 寿	科学技術振興機構	キトサン揮発性物質組成物と徐放性担体並びに抗菌加工方法	特願2004-042125	未公開	b
41	平成15年度	静岡県立大学	酒井康雄、吉岡 寿、松井裕矢	科学技術振興機構	キトサン被覆機能物品とその製造方法	特願2004-042127	未公開	b
42	平成15年度	静岡理工科大学	菅谷 論	静岡理工科大学	表示装置	特願2003-103523	特開2004-309803	e
43	平成15年度	沼津高専	蓮実文彦、田邊恵理、山田裕國	山田裕國	黒鉛粕分解酵素およびこの酵素を産生する微生物	特願2003-278286	特開2005-052140	a
44	平成15年度	浜松医科大学	中村和彦、森 則夫、武井教使、三辺義雄、鈴木勝昭、岩田泰秀	科学技術振興機構	統合失調症に關与する生物学的マーカーの判定方法及びその利用	特願2004-097201	未公開	b
45	平成16年度	静岡理工科大学	小川敏夫	小川敏夫、JFEミネラル		PCT/JP04/19376	未公開	a

出願形態	
育成試験以前	a
育成試験以後	b
バイドール法適用で企業から出願	c
育成試験とは別件	d
育成試験からの出願	e

※No.17及びNo.18に関しては手続き中。